



【鈴木 茂 プロフィール】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。
- ・上尾市議会議会報委員長
- 【現在】
- ・上尾市議会議員(無所属)二期目 福祉常任委員会所属、上尾政策フォーラム所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・(社福)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
 TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
 浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさんこんにちは。上尾市議会議員 鈴木 茂です。2月24日から3月22日まで平成29年度の予算等を審議する上尾市議会定例3月議会が開かれていましたのでその主な内容をご報告させていただきます。

I 平成29年度予算案の審議～市民の大切な税金はどのように使われていくのか

【1】一般会計の予算規模は627億1千万となり過去最大

◎ 会計別予算規模 (予算の一千万円以下は切り捨て、数字は概数)

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率	
一般会計	627億1千万	621億4千万	5億7千万	0.9%	
特別会計	国民健康保険会計	271億6千万	272億8千万	-1億2千万	-0.4%
	公共下水道事業会計	51億5千万	51億	5千万	1%
	介護保険会計	139億3千万	134億1千万	5億1千万	3.8%
	後期高齢者医療会計	25億2千万	23億9千万	1億2千万	5.3%
	小計	487億7千万	482億	5億6千万	1.2%
企業会計	水道事業会計	59億8千万	62億3千万	-2億5千万	-4.1%
合計	1千174億6千万	1千165億8千万	8億8千万	0.8%	

- ★ 過去最高の627億1千万円の予算です。しかし、市税(収入)の過去最高は、平成19年の325億円で、今年の市税の予算額は301億円です。
- ★ 特別会計も増えています。介護保険、後期高齢者医療等が増えているためです。
- ★ そのため合計では特別会計は前年度比5億6千万円の増です。

【2】歳入の48.1パーセントを占める、市税は301億4千万円を見込む。

◎ 一般会計予算状況

歳入(主なもの、数字は概数)

(単位:円)

款別	平成29年度		平成28年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
市税	301億4千万	48.1%	299億7千万	48.2%	1億7千万	0.6%
地方譲与税	3億7千万	0.6%	4億	0.7%	-3千万	-7.4%
地方消費税交付金	29億3千万	4.7%	31億	5.0%	-1億6千万	-5.2%
地方交付税	26億9千万	4.3%	27億5千万	4.4%	-5千万	-2.1%
国庫支出金	96億3千万	15.4%	91億5千万	14.7%	4億8千万	5.3%
県支出金	39億2千万	6.3%	40億1千万	6.5%	-8千万	-2.1%
繰入金	33億4千万	5.3%	31億3千万	5.0%	2億1千万	6.7%
諸収入	10億8千万	1.7%	11億	1.8%	-1億6千万	-1.5%
市債	60億1千万	9.6%	59億	9.5%	1億1千万	1.5%
うち土地開発公社健全化債	0	0.0%	4億9千万	0.8%	-4億9千万	-100.0%
合計	627億1千万	100%	621億4千万	100%	5億7千万	0.9%

★ 新築家屋の増を見込んだ(固定資産税の増)市税の増(+1億8千万)

★ 生活保護費や障害者自立支援給付費に係る国庫支出金の増(+4億9千万)

【3】新図書館複合施設の建設費として1億5,456万円を計上。実施設計が遅れ今年度は杭打ち程度の工事の見込み。

歳出(数字は概数)

(単位:円)

目的別	平成29年度		平成28年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
議会費	4億4千万	0.7%	4億5千万	0.7%	-4百万	-1.0%
総務費	85億6千万	13.7%	69億	11.1%	16億5千万	24.0%
民生費	285億8千万	45.6%	288億3千万	46.4%	-2億4千万	-0.9%
衛生費	54億	8.6%	50億2千万	8.1%	3億8千万	7.7%
商工費	4億6千万	0.7%	4億5千万	0.7%	1千万	2.8%
土木費	53億3千万	8.5%	57億7千万	9.3%	-4億3千万	-7.5%
消防費	25億5千万	4.1%	26億3千万	4.2%	-7千万	-2.9%
教育費	45億9千万	7.3%	51億7千万	8.4%	-5億8千万	-11.2%
公債費	64億9千万	10.4%	66億3千万	10.7%	-1億4千万	-2.1%
予備費	8千万	0.1%	8千万	0.1%	0	-
合計	627億1千万	100%	621億4千万	100%	5億7千万	0.9%

★ 文化センター大規模改造事業等による総務費の増(+16億5千万)

★ 原市保育所複合施設整備事業の終了等による民生費の減(-2億5千万)

★ 電線地中化整備事業の終了等による土木費の減(-4億3千万)

★ 大谷中学校用地として土地開発公社が保有していた土地の買い戻し(土地開発費公社健全化)の終了による教育費の減(-5億8千万)

II 上尾政策フォーラムを代表して図書館とパークゴルフ場(戸崎東部公園)について質問しました。図書館についての質問は以下のとおりです。

Q1 平成28年度一般会計補正予算で新図書館複合施設整備事業費5,826万円が29年度に繰り越される事が提案されたがその理由と内訳は？

回答:実施設計は、8,316万円が契約。そのうち前払金2,490万円。これを差し引いた5,826万円を繰り越すもの。実施設計契約後も市民の意見を取り入れようとアイデア募集を行った。アイデアの集約と建設計画に取り込めるかの検討を行った為、実施設計が遅れた。

Q2 報償費の市民会議委員等謝礼35万円について、市民会議とは？

回答:新図書館複合施設で行う事業の展開について、広く市民の意見を取り入れながら検討する市民参加の会議。

Q3 市民会議の人数は？どのような人達を考えているのか？図書館を考える会のような市民団の方の参加も考えているか？

回答:16人程度で計画している。構成は、有識者や公募のほか、大学生や子育て世代を含め、多種多様な市民に参加して頂く。特定の団体への参加依頼は公募枠もあることから想定していない。図書館の管理運営方法についても、市民会議の議題にさせて頂く。パークゴルフ場(戸崎東部公園)についての質問は以下のとおりです。

Q1 平成28年度補正予算で(仮)戸崎東部公園整備事業費9,930万1千円が29年度に繰り越される事が提案されたが、その理由と内訳は？

回答:一つ目は2名の地権者との用地交渉が難航しており、年度内の契約が見込めないこと。二つ目は、公園の造成に必要な良質土の搬入路の確保が難航したため、28年度内に予定していた工事の完了が5月中旬ごろまでかかる見込みの為。内訳は、地権者2名、面積2,928㎡の用地購入費が、2,986万6千円。造成や芝張り工事に6,943万5千円。

Q2 18ホールでのパークゴルフ場のオープンは、いつを予定しているのか？

回答:平成30年度前半を予定している。

III 上尾政策フォーラムを代表して図書館とパークゴルフ場(戸崎東部公園)について予算の組み換え動議を提出し、提案理由を説明しました。

1 一般会計予算書2頁、第2表 継続費について

9款教育費 5項社会教育費 新図書館複合施設整備事業 平成29年度152,500千円、平成30年度2,634,100千円、平成31年度343,900千円の計上をしないこと

2 一般会計予算書123頁、7款、4項 都市計画費 7目 (仮)戸崎東部公園建設費 (仮)戸崎東部公園整備事業443,004千円を計上しないこと

3 一般会計予算書145頁、9款、5項 社会教育費 4目 図書館複合施設建設費 新図書館複合施設整備事業154,559千円を計上しないこと
(提出理由)

①(仮)戸崎東部公園事業について

私達、上尾政策フォーラムとしては、18ホールのパークゴルフ施設建設について反対するものではありませんが、**残りの公園用地に関しては、近隣地域の方々の意見を伺いながら地域に望まれる公園施設にすべきと考えます。**

また、現在、公園用地2件5筆について**地権者2名の同意を得られず、当初の予定通りに全ての用地取得が完了していないという状況になってしまっている中で、工事だけは予定通りに着着と進めていくという姿勢は、本来、行政としてあるべき姿でないと考えます。**残りの用地取得、今後予定されている工事については、当該地権者との折り合いをつけ、交渉が整った上で、改めて補正予算として計上し、全ての用地取得を行った上で、**進めていくべきとの考えに基づき、組み替え動議と致します。**

②新図書館複合施設整備事業について

昨年の三月定例会では、本来、完成しているはずの基本設計が遅れ、今定例会では、本来、完成しているはずの実設計が遅れているという状況もあります。この点だけを見ましても、本事業については少し急ぎすぎていると言わざるを得ません。

我々、上尾政策フォーラムとしては、これまで本事業については、**多額の税金が伴う大規模事業**であることや**市民の中で賛否両論あり、意見が二分していること**、また、現在予定されている建設スケジュールは、**東京オリンピック・パラリンピックの工事時期とも重なり、建設費の高騰も予想されること**などを踏まえ、**市民を交えた議論、慎重な検討の必要性を提言してきました。**

また、**上尾市の都市計画マスタープラン**を見ますと、『質の高い居住環境』という項目の中の「①日常生活圏を大事にする環境づくり」で、高齢者はもとより誰もが日常生活圏で生活ができるように、主な生活利便施設を各地域拠点に集積させ、地域内にある住宅地から身近な生活利便サービスを楽しむことを目指します。

「③活力ある都市づくり」では、中心市街では商業・業務施設や総合病院などといった高次の都市的サービスが集積しており、さらに高次の商業・業務、医療、教育・文化などの機能の充実を図ります。と謳われています。

この都市計画からすると**教育・文化施設の強化をするための新図書館は中心市街地に置き、各地域には分館を配置し、機能を充実させるべきと考えます。**本事業については、新図書館複合施設建設に伴う現本館や全市的な分館の機能、サービスのあり方も含め、**市民を交えた全市的な議論・検討を行った上で、進めるべきと考えに基づき、組み替え動議と致します。**

IV 請願第7号「上尾市の図書館サービス計画」について、市民的な議論の場をつくることを求める請願に対して上尾政策フォーラムを代表して賛成討論をしました。

再三述べていますように、我が上尾政策フォーラムは、新図書館建設自体には反対はしておりません。23万都市の知の拠点としての新図書館建設は必要と考えています。ご存知のとおりさる12月において図書館を考える会が13,598筆、法定署名数の3.71倍の署名を集め提出された住民投票条例制定は否決となりました。それでもこの**市民団体が請願を出すのは何故なのでしょう？新図書館建設地が高齢化社会を迎える現代において適切地とは思えない事。**今議会でも我が会派の井上議員の一般質問で分かるように、公有地拡大推進法において必ずしも必要条件でない**157万5000円の建物に5,600万で市が補償する事に市民的感情として納得できない事等**にあるのではないかと思います。上平地区に新図書館が建設された場合の現図書館がどうなるのか、どの程度の面積が残るのかも今議会では、明らかになりませんでした。上尾市の最上位計画である第5次上尾市総合計画のまちづくりへの市民力・協働力の向上の中で「**地方分権の流れが加速する反面、市税の減少や扶助費の増大など財政の制約が強まる中、市民・事業者・行政との「協働」によるまちづくりの必要性が高まっています。**」と書かれています。「上尾市の図書館サービス計画」にも市民と共に歩む図書館とうたわれています。分館の充実を望む強い市民の声もある中で、どのように新図書館と現図書館、他の分館を位置付けるのか**市民を交えた真摯な議論が必要と考えこの請願に賛成致します。**

残念ながら私達の出した予算の組み替え動議は民主主義の原則による多数決のルールにより否決されてしまいましたが、上尾市議会初の試みでした。5月27日(土)午前10時~12時まで鈴木茂と上尾市政を語る会を実施します。場所は浅間台幼稚園駐車場西側事務所(上尾市春日 2-27-24.普通の一軒家)です。お茶を飲みながら気軽に話し合いませんか！上尾市政に対してのご意見をお聞かせ下さい。みなさんお誘いあわせの上ご参加下さい。 事務所☎716-7462